

令和元年 8 月 19 日

報道関係者 各位

四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

まなびーあ徳島「新あわ学コース」

「平成の大嘗祭と阿波からの僊服調進」開催について(ご案内)

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

徳島県立総合高等学校及び四国大学では、徳島の歴史や文化、産業など徳島のことについて体系的に学ぶ「新あわ学コース」を開設しております。

その一講座として、新天皇の即位関連儀式である『大嘗祭』についての講座を実施いたします。麻の織物『僊服』を古代より調進し、令和大嘗祭調進の任に当たる阿波忌部氏 御殿人 三木信夫氏を講師に迎え、前回の平成大嘗祭の貴重な資料を交えながら解説していただきます。

つきましては、下記のとおり開講いたしますので、ご多用中とは存じますが、告知及び取材方ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：令和元年 8 月 27 日（火）13：00～15：20（12：30～受付開始）
- 場 所：四国大学 共通講義棟 1 階 R101 講義室
- 参加費：無料 ※募集定員 100 名程度
- 内 容：
「平成の大嘗祭と阿波からの僊服調進～日本の伝統を守り伝える～」
阿波忌部氏 御殿人 三木信夫氏

以上

【問合せ先】 〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
四国大学 SUDAchi 推進室「新あわ学コース」事務局
TEL：088-665-9953 / FAX：088-665-9982
E-mail：sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp



平成の大嘗祭と 阿波からの鹿服調進

～日本の伝統を守り伝える～

新天皇の即位関連儀式である『大嘗祭』において、麻の織物『鹿服』を古代より調進してきた阿波忌部氏。この度、令和大嘗祭調進の任にあたる三木信夫氏、前の平成大嘗祭の貴重な資料を交えながら解説していきます。

日時

8/27 火
13:00▶15:20 (12:30～受付開始)

会場

四国大学 R101

募集定員

100名程度

問い合わせ先

四国大学 SUDAchi推進室「新あわ学コース」事務局
〒771-1 192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
TEL 088-665-9953 Fax 088-665-9982
E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

徳島県立総合大学校

SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

講師

阿波忌部氏 御殿人 三木 信夫

座長

四国大学生生活科学部 上野 昇

講師プロフィール



阿波忌部氏 御殿人 三木 信夫

昭和11年(1936年)徳島県美馬市 阿波忌部氏直系の三木家に生まれる。関西学院大学法学部卒業。現在は剣山の麓、美馬市木屋平にある築400年以上の徳島県最古の民家である国重要文化財「三木家住宅」の管理者と「NPO法人全国重文民家の集い」代表幹事を務める。

三木家は、阿波忌部氏直系としての忌部氏であって、上古以来 歴代の踐祚大嘗祭に、御殿人として「鹿服」を調進して朝廷と深いつながりを持つ。三木家には、その様子を伝える鎌倉時代・1260年の亀山天皇から後伏見、花園、後醍醐、光厳(院)、光明(院)までの鹿服調進の古文書を保有する。南北朝動乱に至り、以降中断したものの、その後、復活して大正・昭和の大嘗祭にその任を果す。平成2年の大嘗祭は、旧木屋平村・山川町他から大勢の方々の物心両面でのご支援とご協力により「鹿服」調進の任を果し、今年令和元年の大嘗祭も御殿人として「鹿服」調進に向け、その任にあたる。

徳島県の伝統文化として、「鹿服」をはじめ麻文化の発信と後世へつないでいくため、皆様のご協力とご支援を賜りながら、今後も持続できるよう進めている。

お申し込み方法

申込はがき

申込はがき、ファクシミリから応募の場合は、
新あわ学コースリーフレット添付の講座申込書からご応募ください。

ファクシミリ

088-602-4861

メール

sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

電子申請

右のQRコードを携帯電話で
読み取り、必要事項を入力し
てください。



上記いずれかにより、
「四国大学 生涯学習センター事務局」まで、
お申し込みください。

注)・申し込みは、なるべく講座7日前までに
お願いします。

・各講座とも定員になり次第、
募集を終了させていただきます。